

番号	タイトル	時間		概 要	DVD	平和	アニメ
27-1	おかあちゃんごめんね	26分	反戦非核平和	1945年7月10日、堺は大空襲にあい、1960人の人が死んだ。6歳だった浜野絹子さんは、このときお母さんを亡くした。彼女の体験を元にして構成した人形アニメ。（1985）		○	○
27-2							
27-3							
30	平和と人類の未来	20分	反戦非核平和	原爆投下、ユダヤ人虐殺、南京虐殺など、人類の大量殺戮で終わった第二次世界大戦。現在も大量の核兵器生産、南北問題など、平和を脅かすさまざまな問題がある。これらの問題の背景には、差別がある。今日の人類課題を示すスライドのビデオ化。（1987）		○	
32	心の中に平和のとりでを	30分	反戦非核平和	戦争のない世界をめざして、過去の戦争を振り返り、現在の先端技術を駆使した戦争の悲惨さを直視し、戦争の本質を解明する。国連制作 ドキュメント（1987）		○	
33-1	おこりじぞう	27分	反戦非核平和	怒った顔をした「おこりじぞう」は、もともとは普通のお地蔵さんだった。なぜそんな顔になったのか。原爆の悲惨さと核戦争への怒り、命の尊さを訴える。人形アニメ（1987）		○	○
33-2							
33-3							
34-1	おかあさんの木	27分	反戦非核平和	おかあさんには7人の息子がいた。戦争が始まり、息子たちは順々に戦争にとられていった。そのたびにおかあさんは桐の木を一本ずつ植えていった。やがて次々と戦死の知らせが入ってくる。戦後だいぶしてビルマで行方不明になってた五郎が帰ってくるが、その時おかあさんは五郎の木にすがって死んでいた。アニメ（1987）		○	○
34-2							
34-3							
34-4							
35-1	トビウオのぼうやはびょうきです	19分	反戦非核平和	1954年、ビキニ水爆実験で海の底もめちゃくちゃにこわされた。お父さんがその水爆で死んだとも知らず、死の灰の病氣にかかったとびうおのぼうやはいつまでも待っている。アニメ（1984）		○	○
35-2							
59	100ばんめのさる	20分	反戦非核平和	今、地球上に生きているものすべてを何度も焼きつくし、殺しきってもまだ余りある核兵器がある。「核」の恐怖のない平和な世界を築くために何をしたらいいのかを考える。国際平和年記念作品。アニメ（1986）		○	○
69	風が吹くとき WHEN THE WIND BLOWS	85分	反戦非核平和	ある日、核戦争が勃発する。老夫婦は、政府が教えたとおりの核シェルターを作り、核攻撃に備えるが…。世界的に話題になったアニメ		○	○
71	南京大虐殺	20分	反戦非核平和	日中戦争の最中、日本軍が中国・南京で犯した大虐殺の記録。ドキュメンタリー		○	
75	「平和を祈るパネル展」 用ビデオ	114分	反戦非核平和	①「アンネの日記」（27分） ②「おこりじぞう」（27分） ③「心の中に平和のとりでを」（30分） ④「人権」（30分）		○	
79-1	夏服の少女たち	30分	反戦非核平和	1945年、広島。あこがれの女学校に入学した少女たちは、物資のない中、自分たちの古着で不揃いだが夏の制服を作る。いつか真っ白な制服を着ることを夢見て。そして運命の8月6日の…。ドキュメンタリーアニメ（1989）		○	○
79-2							
79-3							
80	ドキュメント チェルノブイリ	22分	反戦非核平和	1986年4月26日午前1時23分。この瞬間、「チェルノブイリ」という固有名詞に一つの恐ろしい意味が付加された。この歴史的な大事故を写したドキュメント。日本語ナレーション。		○	

81 -1						
81 -2	にんげんをかえせ	20分	反戦非核平和	10フィート運動によってアメリカから買い取ったフィルムから生まれた。ヒロシマ・ナガサキ記録フィルム。	○	
81 -3						
82 -1						
82 -2	予言	42分	反戦非核平和	10フィート運動の第2作。	○	
89 -1						
89 -2	核戦争	15分	反戦非核平和	「核」って何？ 核戦争を子どもたちにわかるように、アニメで説明。 (1989)	○	○
101 -1						
101 -2	せんすい艦に恋をしたクジラの話	15分	反戦非核平和	大きくなりすぎたクジラは、みんなから仲間ははずれ。それで潜水艦に恋をしちゃった。 でも、その潜水艦は戦争にいくところ…。 アニメ(1989)	○	○
124	映像記録史 「太平洋戦争」前編	75分	反戦非核平和	真珠湾攻撃から原爆投下・敗戦までの太平洋戦争の実像を、世界各国に残された資料をもとに編集したドキュメント。 (1991)	○	
125	映像記録史 「太平洋戦争」後編	75分	反戦非核平和	真珠湾攻撃から原爆投下・敗戦までの太平洋戦争の実像を、世界各国に残された資料をもとに編集したドキュメント。 (1991)	○	
127	女たちの太平洋戦争 (15歳の手記より)	105分	反戦非核平和	いやおうなく関わらなければならなかった太平洋戦争。当時15歳だった少女たちの手記をもとにしたドラマ。写真屋一家の生活を通して、戦争とは何であったのかを浮き彫りにしていく。 (1991)	○	
129	愛と哀しみのサハリン	103分	反戦非核平和	戦争中サハリンに強制連行され、戦後置き去りにされた朝鮮人たち。結婚式の最中に連れ去られた夫と妻が、40年余りの年月を経て再会するが…。 ドラマ(1991)	○	
135	悲しみは消えない ～韓国人玉砕者名簿を追う	52分	反戦非核平和	南洋諸島ブラウン環礁玉砕者名簿の中に、55名の日本人とともに、235名の朝鮮人軍人・軍属の名前があった。その名簿を手がかりに彼らの足跡を追う。 ドキュメンタリー(1992)	○	
137	風の骨 ～45年目の中国人強制連行	40分	反戦非核平和	第2次世界大戦中、秋田県の花岡鉱山に強制連行された中国人がいた。今ようやくその事実が光が当たろうとしている。 秋田放送制作 ドキュメンタリー(1991)	○	
140 -1						
140 -2	君知っている？首都炎上	18分	反戦非核平和	1945年3月10日の東京大空襲は、一夜にして10万人以上の生命を奪った。この体験者3人の話をもとに、実写フィルムとアニメで、東京大空襲を描く。 (1990)	○	○

143	核戦争後の地球 ～第1部「地球炎上」	30分	反戦非核平和	世界の主要都市に1メガトンの核が落ちたらどうなるのかを科学的データにもとづいて想定し、核の破壊力を映像化。全面戦争から1週間の地球の惨状を描いた「第1部」、さらにそれ以後百年間の地球の環境変化を描いた「第2部」からなる。		○	
144	核戦争後の地球 ～第2部「地球凍結」	30分	反戦非核平和	世界の主要都市に1メガトンの核が落ちたらどうなるのかを科学的データにもとづいて想定し、核の破壊力を映像化。全面戦争から1週間の地球の惨状を描いた「第1部」、さらにそれ以後百年間の地球の環境変化を描いた「第2部」からなる。		○	
159	朝鮮侵略と強制連行	45分	反戦非核平和	①「つめあと」～大阪の朝鮮人強制連行 ②「日本帝国主義の朝鮮侵略」 ③「朝鮮人強制連行・強制労働」 以上の3部作 (1991)		○	
161	南京大虐殺	50分	反戦非核平和	日本軍の南京入城を克明にフィルムにとっていたイギリス人宣教師がいた。そのフィルムをベースに、南京虐殺の真実を追う。 MBSナウより。ドキュメンタリー(1991)		○	
166 -1	一つの花	23分	反戦非核平和	「ひとつだけちょうだい」 これがゆみ子の覚えた最初の言葉でした。…なんてかわいそうな子なんだろう。一つだけちょうだいと言えば、何でももらえてと思っているのね。…この子は、みんなちょうだいと言って両手を出すことを一生知らずに過ごすかもしれない…。 今西祐行原作 アニメ(1991)		○	○
166 -2							
166 -3							
167 -1	消えさらぬ傷あと 火の海・大阪	20分	反戦非核平和	1945年6月1日、第2回大阪空襲。 「熱い」と叫んだ幸子の右腕を、焼夷弾の破片が切り裂いていた。いたるところに破片を受けて、息絶えた赤ん坊の明子…一瞬のうちに多くの尊い命が奪われた。 アニメ(1991)		○	○
167 -2							
168	パール・ハーバー ～日米の運命を決めた日	90分	反戦非核平和	1941年12月8日、日米開戦の発端となった真珠湾攻撃。それから50年たった時点で、当時の映像をふんだんに駆使して、その真実に迫る。 ドキュメンタリー(1991)		○	
174	闇の中の歴史 富山朝鮮人少女強制連行史	83分	反戦非核平和	第2次世界大戦中、朝鮮から女子挺身隊として富山の軍需工場に送られた子どもたちがいた。 彼女らのあとを、富山と韓国に訪ねる。 ドキュメンタリー(1992)		○	

253	怨みの海峡 ～元従軍慰安婦たちの 50年	50分	反戦非核平和	1992年12月25日、釜山から下関に渡った4人の韓国女性性がいた。彼女たちは50年にもこの海峡を渡り、各地に散っていった。あるものは軍需工場へ、またあるものは「女子挺身隊員」という名の「従軍慰安婦」として。彼女たちは、長い沈黙を破り、「50年」の意味を改めて日本社会に問い始めている。 NHK「ドキュメンタリー93」（1993）		○	
256	朝鮮人強制連行 ～初公開・6万7千人の 名簿から	50分	反戦非核平和	第2次世界大戦末期、百万人を超える朝鮮人が、さまざまな名目で強制連行された。そのうち6万7千人分が初めて公開された。この名簿は、当時のなまなましい記録であるとともに、未だ未解決の戦後処理の問題を改めて問いかけている。 NHKスペシャルより（1993）		○	
261	タチソ作戦	34分	反戦非核平和	第2次世界大戦末期に、全国各地に空襲を避けるための地下工場が建設された。そのひとつが高槻地下倉庫である。その工事に従事したのは、ほとんど朝鮮人労働者であった。当時の人たちの証言から、その実態に迫る。		○	
265	長い航跡 50年目のわだつみをこえ	50分	反戦非核平和	1943年10月21日、第1回出陣学徒壮行会が開かれた。それから50年がたつ。戦没学徒の手記を集めた「きけわだつみのこえ」が出版されたのが1993年。それに手記を寄せた学徒の当時の生き方や思想に迫る。 NHKスペシャルより ドキュメンタリー（1993）		○	
266	一億玉砕への道 ～日ソ終戦工作	60分	反戦非核平和	第2次世界大戦末期、敗戦の色が濃くなった日本は、あくまで国体護持をかね、本土決戦を叫んでいた。一方外交面では、ソビエトの仲介による終戦工作を密かにすすめていた。このころの日本と世界の動きを追う。 NHKスペシャルより ドキュメンタリー（1993）		○	
271	踏みにじられた南の島 ～レイテ・フィリピン ドキュメント太平洋戦争	50分	反戦非核平和	アジア・太平洋戦争が始まると同時に、日本軍はフィリピンに侵攻した。日本占領下の3年足らずの間に、フィリピンでの反日感情は最高度に高まり、各地でゲリラ活動が活発になった。この戦争で最大の激戦地となったレイテに、日本が敗北していくパターンを見ていく。 NHKスペシャルより ドキュメンタリー（1993）		○	
275	対馬丸 —さようなら沖縄—	70分	反戦非核平和	1944年8月、沖縄からの疎開児童を満載して鹿児島に向かって対馬丸は、敵の砲撃を受けて沈没した。この出来事をもとに制作されたアニメ。		○	○
277	48年目の夏に ～償いきれぬ罪なれど～	30分	反戦非核平和	奈良県生駒市に住む池田正枝さんは、第2次世界大戦中の朝鮮で、国民学校の教師をしていた。今、その罪を償おうと、自分の体験を語るなどの活動を精力的に行っているが…。 NHKドキュメント93（1993）		○	

278	モリチョウさんを探して ～ある原爆小頭症児の 空白の生涯	45分	反戦非核平和	1988年2月13日、下村盛長さんは、全身をガンに冒されて死亡した。彼は広島で胎内被曝をし、その結果原爆小頭症児として生まれた。彼がどこで生まれ、何をしてきたのか、その空白の生涯をたずねる。 ETV特集 ドキュメンタリー(1993)		○	
281	サハリンスキー ・カレーエツ ～徴用された韓国・朝鮮人	45分	反戦非核平和	1946年、サハリンの日本人の本国引き上げが始まった。しかし、朝鮮人は、複雑な国際情勢の元でそのまま置き去りにされた。サハリンスキー・カレーエツと呼ばれる韓国・朝鮮系の人々は、3万5千人を数える。彼らの姿を、サハリン現地と国交の始まった韓国に追うドキュメンタリー。 (1993)		○	
282	大日本帝国のアキレス腱 ～太平洋シーレーン作戦 ドキュメント太平洋戦争	60分	反戦非核平和	アメリカとの開戦を決意した日本は、それまでアメリカに頼っていた資源を東南アジアに振り向けることであった。その際の最大の問題は、シーレーンをいかにして確保するかということであった。 ドキュメンタリー(1993)		○	
286	48年目の夏に ～不戦兵士 ・語りつぐ「聖戦」	30分	反戦非核平和	第2次世界大戦従軍者でつくる「不戦兵士の会」。会員260名は、生き地獄を見てきた者として、若い人々に戦争を語りつぐ活動をつづけている。その一人、鳥山博志さんの活動を中心に紹介する。 NHKドキュメント93より (1993)		○	
294	エレクトロニクスが 戦を制す ～マリアナ・サイパン～ ドキュメント太平洋戦争	50分	反戦非核平和	1944年、日本の敗戦を決定的にしたマリアナ・サイパンの戦い。勝敗を決定したのは、アメリカ軍のエレクトロニクスを結集した電子機器による防御戦略だった。 (1993)		○	
307 -1	最後の空襲・くまがや	28分	反戦非核平和	熊谷は日本の敗戦の前日、8月14日に大規模な空襲を受けた。直前の東京空襲で家族を失い、熊谷の親戚に疎開していた幸子は、ここでもまた空襲に合う。戦争があと一日早く終わってれば…。 (1994)		○	
307 -2							
307 -3							
315	恨(ハン)の海 (49年目の夏に・①) NHKドキュメント94	53分	反戦非核平和	日本の敗戦直後の1945年8月24日、浮島丸は下北半島から4千人近い朝鮮人労働者を乗せ、釜山に向かっていた。途中舞鶴港に立ち寄ろうとしたとき、突然原因不明の大爆発を起こして沈没し、500人余りの朝鮮人と日本軍の25人が死亡したとされている。しかし真相はいまだ謎に包まれたままである。当時の関係者等に当たって、その謎に迫る。 (1994)		○	
330	朝鮮半島 植民地支配の実態	28分	反戦非核平和	1910年の韓国併合以来の日本による植民地支配の実態に、さまざまな方面から迫る。土地収奪、創氏改名、強制連行などの歴史的事実を検証しながら、植民地支配がいかに行われたかを明らかにする。 (1994)		○	

336 -1	太平洋戦争と東南アジア	31分	反戦非核平和	太平洋戦争の発端とされる真珠湾奇襲攻撃の2時間前に、日本軍はマレー半島攻撃を企てていた。「太平洋戦争」という名前にかくされてしまっている東南アジアでの日本軍の残虐行為を明らかにする。 (1994)		○	
336 -2							
337	太平洋戦争史 上 ・海戦編 ・海ゆかば	56分	反戦非核平和	日本軍による真珠湾攻撃による開戦から米軍の沖縄上陸まで、太平洋戦争の全貌を克明に記録したドキュメント。米国防総省撮影のフィルムを編集。 ・上巻は海戦を中心に収録。 ・下巻は南方諸島での激戦を中心に収録している。		○	
338	太平洋戦争史 下 ・諸島編 ・暁に祈る	58分	反戦非核平和	日本軍による真珠湾攻撃による開戦から米軍の沖縄上陸まで、太平洋戦争の全貌を克明に記録したドキュメント。米国防総省撮影のフィルムを編集。 ・上巻は海戦を中心に収録。 ・下巻は南方諸島での激戦を中心に収録している。		○	
339	神風特攻隊	40分	反戦非核平和	神風特攻隊の姿を、米国防総省所蔵のフィルムを中心に編集した。		○	
340	硫黄島決戦	40分	反戦非核平和	1945年2月16日、米上陸部隊が硫黄島を包囲し、硫黄島決戦が始まった。米国防総省所蔵フィルムを中心に編集。		○	
341	戦後補償を考える ～問われる近代の負債～	45分	反戦非核平和	近年、アジア・太平洋地域のみならず、イギリス・オランダなどからも戦後補償を求める訴えが相次いでいる。なぜこんなことが起こったのか、戦後の歴史を検証する。 NHKテレビE T V特集 (1994)		○	
351	アイヒマン 日本テレビ 「知ってるつもり」より	50分	反戦非核平和	1960年5月11日、アルゼンチンでクレメントと名乗る男が何者かに誘拐され、イスラエルに連行された。その男こそ、第二次世界大戦中にユダヤ人虐殺の実行責任者であったアドルフ・アイヒマンであった。この男の素顔に迫る。 (1994)		○	
353	ある南京の記録	23分	反戦非核平和	1937年7月7日、蘆溝橋事件を契機に日中は、全面戦争に入った。同年12月に南京を占領した日本軍は、大虐殺事件を起こす。当時のフィルムによって構成されたドキュメント。		○	

354	ビルマの竖琴Ⅰ	130分	反戦非核平和	竹山道雄原作の映画化。ビルマ戦線で敗戦を迎えた水島上等兵は、いまだ敗戦を知らず交戦を続ける日本軍を説得する任務を与えられて戦地へ向かった。しかし、水島はいつまでたっても帰らなかった。戦争の犠牲になった兵士の霊を弔うため、僧侶になってビルマに留まることを決意したのである。		○	
355	ビルマの竖琴Ⅱ	130分	反戦非核平和	竹山道雄原作の映画化。ビルマ戦線で敗戦を迎えた水島上等兵は、いまだ敗戦を知らず交戦を続ける日本軍を説得する任務を与えられて戦地へ向かった。しかし、水島はいつまでたっても帰らなかった。戦争の犠牲になった兵士の霊を弔うため、僧侶になってビルマに留まることを決意したのである。		○	
356	ホロ・コーストⅠ	105分	反戦非核平和	ナチス・ドイツによるユダヤ人虐殺をテーマに描いたドラマ。		○	
357	ホロ・コーストⅡ	115分	反戦非核平和	ナチス・ドイツによるユダヤ人虐殺をテーマに描いたドラマ。		○	
371	キムの十字架	80分	反戦非核平和	日本の敗色が濃くなったころ、東京空襲にそなえて、長野県の松代に巨大な地下トンネルを掘り、大本営と皇居を移転させる計画がもちあがった。工事に動員されたのは、朝鮮の若者たちであった。その中のひとり、キムジェハとその弟セファンを主人公にした物語。 (1994)		○	
372 -1	ドキュメント沖縄戦	57分	反戦非核平和	沖縄戦では、日米双方で20数万人が死に、とりわけ沖縄県民は4人に1人が犠牲になった。アメリカ公文書館には、沖縄戦に関する膨大なフィルムが保管されている。この作品は、1717運動によって取り寄せたフィルムを編集した。 (1995)		○	
372 -2							
373 -1	十六地蔵物語 ～戦争の犠牲になった 子どもたち～	26分	反戦非核平和	徳島県にある真光寺には、「一六地蔵」と呼ばれるお地蔵さんが立っている。敗戦間際の1945年1月に起こった火災で焼け死んだ、16人の疎開児童の霊を慰める地蔵である。ここに疎開していたのは、大阪市の南恩加島小学校の児童たちであった。その中の朝鮮人の少年・栄太を主人公にした、史実にもとづいた物語。		○	
373 -2							
373 -3							
376	教えられなかった戦争 フィリピン編 侵略・「開発」・抵抗	110分	反戦非核平和	明治以降、日本は他国を侵略して経済発展を続けてきた。今日また、開発援助という名の新しい侵略が行われている。このビデオでは、第2次世界大戦中の証言だけでなく、今日の問題をすどく問にかけている。 (1995)		○	
377	教えられなかった戦争 —侵略・マレー半島—	110分	反戦非核平和	アジア・太平洋戦争で日本は何をしたのかをマレーシアに取材する。戦争体験者が、日本軍の残虐行為を証言する。また、日本軍がなぜこんな残虐な行為をすることができたのかを追求する。 (1995)		○	

388	ゆんたんざ沖縄	110分	反戦非核平和	沖縄戦のさなか、チビチリガマ(自然壕)で集団自決を強いられた人びとの証言、そこに鎮魂の像を村人と共に制作する彫刻家・金城実さん等、ゆんたんざ(読谷村)の1年を記録。 (1987)		○	
392	見上げれば、ひまわり —千恵子さんとともに—	30分	反戦非核平和	「長崎の証人」として、核兵器廃絶を訴え続けた渡辺千恵子さんの人間変革を記録。被爆50周年キャンペーンのため、原水協が制作。 (1995)		○	
393	世界の人へ —朝鮮被爆者の記録—	47分	反戦非核平和	日本軍に強制連行され、広島・長崎で被爆した朝鮮人が、その経験を語り、日本の侵略を告発し、平和への願いを訴える。 (1982)		○	
396	戦場の女たち	55分	反戦非核平和	第二次世界大戦で、最南端の日本軍激戦地となったのがバブア・ニューギニア。そこで最も犠牲を強いられた女性たちを、女性自身が記録。 (1989)		○	
397 -1	ひろしまのピカ	25分	反戦非核平和	丸木俊の絵本「ひろしまのピカ」を、中山千夏、竹下景子が朗読し、小室等が音楽をつけた。 ビデオ絵本		○	
397 -2							
398	戦争 子どもたちの遺言	53分	反戦非核平和	アグジュツ、ゲルにか、広島、長崎、東京などで戦争の犠牲になった子どもたちに焦点をあて、みな殺し戦争を告発する。 (1984)		○	
403	非核・平和ビデオ集 1	115分	反戦非核平和	とびうおのぼうやは病気です(19分) にんげんをかえせ 夏服の少女たち おかあちゃんごめんね 100ばんめのさる		○	○
404	非核・平和ビデオ集 2	111分	反戦非核平和	おかあさんの木 アンネの日記 おこりじぞう 心の中に平和のとりでを		○	○
405	非核・平和ビデオ集 3	123分	反戦非核平和	せんすい艦に恋をしたクジラの話 新ちゃんがいない 核戦争 世界人権宣言 きつねのかんちがい		○	○
406	非核・平和ビデオ集 4	111分	反戦非核平和	ドキュメントチェルノブイリ おこりじぞう アンネの日記 火の海大阪 せんすい艦に恋をしたクジラの話		○	○
410	太平洋戦争史 最後の戦い沖縄	46分	反戦非核平和	1945年3月26日、アメリカ軍は沖縄本島に上陸を開始した。一方牛島中将以下日本軍は、住民の協力を得て、強力な防備体制を築いていた。しかしそれはまた、住民の集団自決という悲劇を生み、沖縄住民15万人のあまりにも多大な犠牲者を生んだ。		○	

433 -1	さようならカバくん	25分	反戦非核平和	1945年、空襲のさなか、上野動物園の2頭のカバは絶食させられた。動物と子どもたちの交流と悲劇を通じて、戦争の悲惨さを訴える。 早乙女勝元原作のアニメ （1989）		○	○
433 -2							
433 -3							
433 -4							
434	タイコンデロング のいる海	28分	反戦非核平和	1965年12月5日午後2時50分 沖縄の近海で、広島型の約80倍の威力を持つ水爆を搭載したスカイホーク攻撃機が、操縦士もろとも海中に沈んだ 田中資二原作のアニメ		○	
442	かんからさんしん	78分	反戦非核平和	太平洋戦争末期、沖縄は米軍の猛爆撃を受け、サンゴ礁の海をみるみる血で染め上げました。津堅島では本土からの応援もなく、最終陣地とされたわずか7、8キロの洞窟に3万の兵士と十数万の民衆がひしめきあっていたのです。日本兵たちは食物を独占し、さらに非難している人々を追い出そうと射殺したり、集団自決を強要します。守ってくれるはずの日本兵が逆に住民に銃口をむけたのです。もうどこにも逃げ場はありませんでした。「生きる」ことの意味をサンシンにのせて叫ぶ人々と、沖縄戦の悲惨さがアニメによって鮮明に描かれています。		○	
445	太平洋戦争と沖縄	35分	反戦非核平和	太平洋戦争中、唯一日本での地上戦が展開された沖縄。多くの住民を巻き込んだ3ヶ月にわたる地獄の戦場を数々の証言と資料映像で綴る。 (1994)		○	
451	せんせい	105分	反戦非核平和	原爆投下の翌日長崎に入って被爆し、「急性骨髄性白血病」により、32歳の若さでこの世を去った中学教諭・山口竹子さんをモデルにつくられた。子どもたちとのふれあい、彼女の死を通して平和の尊さを訴える。		○	
461	中国大陸侵略 —太平洋戦争への道—	30分	反戦非核平和	世界恐慌の打開策として、軍部は中国大陸に進出し、それが泥沼化すると、さらに太平洋戦争へと戦線を拡大させた。当時ニュースフィルムや証言を通じて、中国大陸侵略の歴史を検証する。 (1997)		○	
469 -1	つるにのって ～とも子の冒険	27分	反戦非核平和	小6のとも子が、広島平和公園の「折り鶴の少女」像の前に来たとき、像の少女サダコが動きだし、やがて二人は鶴の背にのって不思議な旅をする。		○	
469 -2							
469 -3							
469 -4							
470	猫は生きている	75分	反戦非核平和	1945年3月10日、東京大空襲によって、わずか2時間半の間に10万人の命が奪われた。その中で、昌男の家と野良猫の家はどんな運命をたどったのか。 早乙女勝元原作の人形アニメ （1975）		○	○
492	戦争出前 学校編	45分	反戦非核平和	一兵士、一市民として経験した戦争の事実を話し続ける本多立太郎さん。72歳から語り始め、12年間で7万人が聞いた。平和や生命の大切さを訴える本多さんの断を対象者別に2種類に分けて編集。 (1998)		○	

555 -1	ながさきの子うま (DVD A-7)	27分	反戦非核平和	昭和20年8月9日長崎。再び原子爆弾が落とされた。お母さん馬と幼い馬を主人公に平和と生命の尊さをやさしく伝える。 (1999・人形アニメ)		○	○
555 -2							
555 -3							
555 -4							
564	一分のすきもなく 武装して —世界にはびこる 小型武器の現状—	28分	反戦非核平和	今、世界には、全人口の10人に一人が手にすることができるほど、多くの銃が存在します。このビデオは、小型武器の不正な取引が広まり、容易に手に入れることができる現状に焦点を当てたものです。なによりも憂慮されることは、子どもたちでもこのような小型の武器を手に入れることができる現状である。		○	
568	戦争の傷あと	31分	反戦非核平和	戦争が残した影響は、戦争が行われた期間と同じくらい長引く問題である。実際の戦闘が終わっても、深く大きな傷あとが何の関係もない一般市民に残る。それは、残された爆弾、地雷による身の危険、戦争が残した社会崩壊、そして人々の心の中に残された傷などだ。このビデオは、戦争の傷あとから立ち直ろうとする市民たちのドキュメンタリーである。 (国際連合広報センター)		○	
586	なっちゃんのお赤いてぶくろ	18分	反戦非核平和	昭和20年8月6日、広島。原爆の光に焼かれた、なっちゃんは長い歳月をかけ、少女のまま、一児の母になった親友としちゃんと再会した。アニメを通して戦争や原爆の悲惨さを訴え、親子で平和の尊さを考える。		○	○
603	クロがいた夏	80分	反戦非核平和	ある日伸子は、カラスに襲われている親子のネコに出会います。思わず助けにはいったのですが、お母さんネコは死んでしまいました。子ネコを連れ帰った伸子ですが、お父さんは許してくれません。でも伸子には、子ネコを捨てることができません。子ネコのお母さんから預かった生命なのですから。やっとお父さんが飼うことを認めてくれてからは、もっと大変でした。なにしろ戦争中だったので人間の食べるものさえ入りにくい時代だったのです。クロと名付けた子ネコのおかげで家族の毎日は、それまでの2倍、3倍にも楽しい毎日になりました。		○	
634	清ら島沖縄 ～摩文仁からのメッセージ～	30分	反戦非核平和	沖縄の歴史と文化・沖縄戦の悲劇・摩文仁からのメッセージ 平和を願う心・現代そして未来への4部で構成。		○	
635	被爆の爪跡 ～原爆被害の概要～	10分	反戦非核平和	原爆投下前の広島、広島への原爆投下、長崎への原爆投下、原爆被害、世界の核兵器の状況。		○	
637 -1	しんちゃんのおさんりんしゃ (DVD A-19)	24分	反戦非核平和	戦争で食べるものもないとき、伸ちゃんにとって三輪車は宝物でした。伸ちゃんはどんな夢を描いていたのでしょうか。広島原爆資料館に残されている赤錆びた三輪車にまつわるお話をもとにしています。 (アニメ)		○	○
637 -2							
637 -3							
637 -4							

638 -1	伸ちゃんの三輪車 (ビデオ絵本) (DVD A-19)	20分	反戦非核平和	「しんちゃんのさんりんしゃ」のビデオ絵本バージョン。伸ちゃんが三輪車を手にしてから、ヒロシマ原爆を経て、資料館に展示されるまでの経過を描いています。		○	
638 -2							
638 -3							
665	さとうきび畑	11分	反戦非核平和	歌詞のイメージがアニメーションで流れます。森山良子の歌声をききながら、情景を思い浮かべ、平和について考えましょう。		○	○
667	火の鳥と出会う旅	15分	反戦非核平和	立命館大学 国際平和ミュージアムの1Fには、手塚治虫氏の「火の鳥」が描かれた壁画が展示されています。手塚氏が「火の鳥に」にこめた恒久平和の願いとミュージアムの理念の中に共通したものであるからです。ミュージアムを旅し、平和の大切さを考えましょう。		○	
A3	さようならカバくん	25分	反戦非核平和	1945年、空襲のさなか、上野動物園の2頭のカバは絶食させられた。動物と子どもたちの交流と悲劇を通じて、戦争の悲惨さを訴える。 早乙女勝元原作のアニメ（1989）	○	○	○
A5	つるにのって ～とも子の冒険	27分	反戦非核平和	小6のとも子が、広島平和公園の「折り鶴の少女」像の前に来たとき、像の少女サダコが動きだし、やがて二人は鶴の背にのって不思議な旅をする。	○	○	
A6	はとよ ひろしまの空を	21分	反戦非核平和	大川悦生原作アニメ映画。 家族と可愛がってくれた飼い主の少年を原爆でなくし、一羽残されたためすの小鳩は、やがてやさしいおす鳩と出会い、卵をかえそうとする。鳩の姿を通して、平和の尊さを問いかける。 (1999)	○	○	
A7 -1	ながさきの子うま	27分	反戦非核平和	昭和20年8月9日長崎。再び原子爆弾が落とされた。お母さん馬と幼い馬を主人公に平和と生命の尊さをやさしく伝える。 (1999・人形アニメ)	○	○	○
A7 -2							
A17	もうひとつの沖縄戦記 あのときそんな子どもたちがいた	30分	反戦非核平和	悲惨な地上戦を経験した沖縄戦。次の世代に戦争の残酷さと平和を求める心を伝えて行くためにも、戦争体験者の証言に耳を傾け、過去の資料に学びながら語り継いでいくことが重要です。このDVDビデオには、戦争を体験した子どもたちの証言が集められています。	○	○	
A18	沖縄戦の証言	35分	反戦非核平和	小学生や中学生までも戦闘にかり出され命を奪われた沖縄戦。戦争体験者の証言や韓国での取材を交え、平和への願いを込めたメッセージが沖縄から世界へ贈られます。 (沖縄戦記録フィルム1711運動沖縄戦終結60周年記念企画)	○	○	
A19	しんちゃんの さんりんしゃ	24分	反戦非核平和	戦争で食べるものもないとき、伸ちゃんにとって三輪車は宝物でした。伸ちゃんはどうな夢を描いていたのでしょうか。広島原爆資料館に残されている赤錆びた三輪車にまつわるお話をもとにしています。 (アニメ)	○	○	○

A27	軍隊がいた島 ～慶良間の証言～	38分	反戦非核平和	太平洋戦争末期に沖縄県・慶良間諸島で起きた「集団自決」の体験者や目撃者らの証言を集めたドキュメンタリー映画。 那覇市の市民団体「沖縄戦記録フィルム1717運動の会」制作	○	○	
A44	いわたくんちの おばあちゃん ～ぼく、戦争せんけえね～	20分	反戦非核平和	このアニメの主人公、寛太は現代の小学生です。寛太は、友達のおばあちゃん(ちづこさん)の話を聞くうちに、原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしています。この作品は、昭和20年8月の広島で起こった実際のお話をもとになっています。戦争は、人の命を奪う最悪の人権侵害ともいえます。この作品を視聴したあとは、平和や命の大切さを、学校で、地域で、家庭で話し合っていたいただきたいと願っています。	○	○	○
A55	託す 被爆アオギリの語り部 語り部沼田鈴子がまいた種	28分	反戦非核平和	22歳で被爆し、余儀なく左脚切断をされた沼田さん。絶望の中、被爆アオギリの新芽から希望を取り戻す。平和を訴える語り部として、広島を訪れる子どもたちに平和の種をまき続けた沼田さんのドキュメンタリー。	○	○	
A71	核兵器の廃絶と 恒久平和の実現に向けて	5分	反戦非核平和	日本非核宣言自治体協議会のやくわりについて事業概要を紹介しています。	○	○	
A72	私たちが伝える被爆体験 世代を越えて伝える平和		反戦非核平和	日本非核宣言自治体協議会が長崎被爆体験を紙芝居(8分)やインタビューの様子などをまとめています。	○	○	
A74	学ぼうヒロシマ	約76分	反戦非核平和	記憶を受け継ぐ (12分20秒、13分41秒、8分28秒) 平和をになうのは私たち (13分) 原爆と中国新聞ダイジェスト版 (28分25秒)	○	○	
A117	ヒロシマに 一番電車が走った	32分	反戦非核平和	戦地に召集された男たちに代わり、広島路面電車は10代の少女たちが動かしていた。15歳の春川弥生は、朝の車掌業務に就く際に被爆、最愛の母と大勢の仲間を失い悲嘆に暮れる。しかし、被爆からわずか3日後、廃墟の中を弥生の乗った電車が警笛を高らかに鳴らして走り始めた。NHK広島放送局の被爆体験募集に寄せられた300通を超える手記をもとに、死と絶望の中で生き抜いた実在の少女を主人公に、風化させてはならない原爆の記憶をわかりやすく次世代に伝える作品です。 1993年NHKスペシャルで放送されたアニメーション	○	○	○
A118	太陽をなくした日	20分	反戦非核平和	セミの鳴き声と、下駄の音が響く1945年8月の広島。 子どもたちは商店街の中を走り回って遊んでいる。大人たちは戦争のための訓練に明け暮れているけれど、それは子どもたちには関係のない事。極々ありふれた子どもたちの日常生活が繰り返されてきた。そして、原爆が投下された朝も…何もなければ同じような時間が繰り返されるはずだった。 まだ、誰も描いていない、広島があった。 (内容の解説資料あり)	○	○	○
A139	戦場ぬ止み	155分	反戦非核平和	2014年8月14日辺野古沖は「包囲」された。沖縄は再び戦場になった__。	○	○	
A144	沖縄スパイ戦史	114分+73分	反戦非核平和	ふたりのジャーナリストが迫った沖縄戦の最も深い闇。 少年ゲリラ兵、戦争マラリア、スパイ虐殺・・・ そして、ついに明かされる陸軍中野学校の「秘密戦」とは？	○	○	
A145	標的の島 風かたか	119分+31分	反戦非核平和	この岩が、最後の希望― 辺野古、高江、宮古、石垣―なぜ闘うのか？ 壊れかけたこの国の、自由と平和をめぐる「最前線」。	○	○	